

## 親子映画、平和作品展

### ～子どもたちと平和、人権について考える機会に～

三浦半島地区教育文化研究所では、通年事業としての教育相談のほかに、毎年の教育文化事業として、8月に親子映画、平和作品展、11月に市民教養講座を開催しています。

8月の第1週に行われる平和作品展は今年で37回を迎えます。個人制作、合同制作合わせて、毎回1000人以上もの児童生徒が出品してくれます。

横須賀市立横須賀総合高校の美術部の生徒さんの作品も展示され、会場の雰囲気を高めてくれます。

子どもならではの視点で、今ある平和を享受し、大切に思い、戦争を悼む気持ちを表現してくれています。3日間の展示期間は制作者の子どもたちやその保護者、指導してくれた教職員の方々も見に来てくださり、教育会館のホールは静かで温かい時間が流れます。

毎年8月の第1土曜日に開催する親子映画は、今年も横須賀総合高校のご協力をいただき、同校のシーホールを会場にさせていただきます。大きなホールは階段状の客席で、映画館で鑑賞するのと同じ迫力です。

親子映画は1969年に子どもたちの幸せと平和を願い、始まった「親と子の良い映画を見る会」を実行委員会形式で行っていましたが、実行委員会が解散し、その後を教育文化研究所が教育文化事業として受け継いで開催しています。

人権と平和をテーマに上映作品を選定していますが、今回は、アニメ「窓際のトットちゃん」を上映します。

どんな子どもどんな社会状況でも「ありのままの」その子でいられる、インクルーシブの原点ともいえる「トモエ学園」でのトットちゃんの日々を、生き生きと描いた作品です。

ぜひ、保護者の方々とお子さんとで楽しく、そしていっぱい考えながら鑑賞してください。涼しい会場で、ご参加をお待ちしております。